

# 歯科医療従事者に栄養学は必要か？ なぜ今、歯科栄養学か？

## 臨床歯科栄養学

— 歯科に求められる栄養の基礎知識 —



食や栄養を通して健康を追求するためには、あくまでも口から食事を摂取することが基本である。事実、単に健康食品やサプリメントに依存することは否定され、正しい食事のとり方と栄養バランスが強調されている。この大きな流れの中で、口腔の健康をつかさどる歯科医療が、どこまで・どのように貢献できるのかが問われている。

また、近年の歯科医師国家試験では歯・口腔と栄養の関連について科学的エビデンスが集積されたため、栄養学に関する試験問題が多数出題されるようになってきた。ところが、歯学部 of 学生教育に適した栄養学の教科書はないため、臨床の立場から問題提起をしてまとめたものはみあたらない。本書の出版を契機として「歯科栄養学」という学問分野が急速に発展し、臨床予防医学の一角を占める時代が来ることを願っている。

- A4判／オールカラー／148頁
- 定価：4,800円＋税／送料360円
- ISBN：978-4-89605-349-4
- 監修：花田信弘・萩原芳幸・北川 昇

### 目次

#### 第1章 歯科における食育と健康

- 1 歯科が栄養に関与しなければいけない理由
- 2 歯科疾患(う蝕、歯周病、咀嚼機能低下)と生活習慣病
- 3 WHOが提唱する砂糖コントロール
- 4 国家試験出題基準からみた知っておきたいやさしい栄養学の基礎
- 5 咀嚼機能評価・口腔機能評価・食形態
  - 5-1 咀嚼／口腔機能評価
  - 5-2 食形態
- 6 栄養サポートチーム
- 7 特定保健用食品
- 8 共生細菌の栄養学

- 8-1 腸内細菌
- 8-2 口腔細菌
- 9 予防歯科の新しい考え方 生活習慣病(NCDs)を予防するための歯科外来

#### 第2章 保健指導を学ぶ

- 1 食育をキーワードにした、子育て支援活動
- 2 歯科が関与するNon-Communicable Diseases(NCD)の保健指導
- 3 高齢者をキーワードにした栄養指導

#### 第3章 医科歯科連携

- 1 訪問診療による栄養指導
- 2 摂食嚥下障害と栄養

一般財団法人 口腔保健協会